



2012年3月9日

各位

会社名 マックスバリュ中部株式会社
 代表者名 代表取締役社長 正木 雄三
 (コード番号: 8171 名証第2部)
 問合せ先 取締役総合企画部長 小泉 寛
 (TEL 0598-51-3128)

業績予想の修正及び特別損失の計上並びに繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2011年3月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、特別損失の計上見込み、繰延税金資産の取り崩しについても併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(金額の単位: 百万円)

2012年1月期通期連結業績予想数値の修正 (2011年2月1日~2012年1月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	123,200	2,170	2,300	210	8円26銭
今回修正予想 (B)	122,330	1,820	1,910	△115	△4円52銭
増減額 (B-A)	△870	△350	△390	△325	—
増減率 (%)	△0.7	△16.1	△17.0	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2011年1月期)	118,397	2,159	2,294	447	17円61銭

2012年1月期通期個別業績予想数値の修正 (2011年2月1日~2012年1月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	123,200	2,150	2,280	200	7円87銭
今回修正予想 (B)	122,310	1,920	2,000	△30	△1円16銭
増減額 (B-A)	△890	△230	△280	△230	—
増減率 (%)	△0.7	△10.7	△12.3	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2011年1月期)	118,407	2,143	2,278	440	17円34銭

修正の理由

通期予想における営業収益につきましては、連結・単体ともに概ね計画どおりとなる見通しとなりましたが、利益面では下期に4店舗を新規出店したことに加え、プロセスセンターの稼動を当初計画より早めるなど、将来の成長戦略に基づく設備投資を実施したことにより、設備費等の一時経費が増加し、連結・単体ともに営業利益、経常利益が前回発表の数値を下回る見通しとなりました。また、当期純利益につきましては、項番2の減損損失等、特別損失は当初想定額を下回る見通しとなったものの、税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しとして、法人税等調整額に連結で254百万円、単体で253百万円を計上する見込みであることから、前回予想を下回る見通しであります。

以上の理由により、2012年1月期通期の業績予想を修正いたします。

2. 特別損失の計上

減損損失 686 百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、店舗に係る減損損失 677 百万円、遊休資産等に係る減損損失 9 百万円を特別損失に計上いたしました。

3. 繰延税金資産の取り崩し

2011年12月2日に公布された「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、2014年1月期以降に適用される法定実効税率の変更に伴う影響により、2012年1月期において繰延税金資産を取り崩すこととし、法人税等調整額に連結で254百万円、単体で253百万円を計上する見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上